

(設立認証申請)

設 立 趣 旨 書

2020 年 9 月 30 日

特定非営利活動法人 Free+ International School

1 設立の趣旨

時は AI の時代に突入。2030 年までに 1/4 の仕事がなくなり、残りの 75% の仕事も AI にとって代わられる時代が来ると言われています。

また、現在大学入試の 50% は推薦入試、今まで重視されていたペーパーテストの比重は下がり、受験勉強のスタイルは、今後さらに大きく変わります。

今を生きる子供たちが大人になるころには、受験を乗り切るための力ではなく、今までとは異なる"人間力"が問われていくことは容易に想像できるのではないのでしょうか。

一方で、現代の幼少教育に目を向けてみると、小学校教育は 30 年以上前から大きな変化がないことも事実です。

2020 年から、教育カリキュラムの変更（アクティブラーニングの導入）と言われていますが、実質、指導者不足は否めず、子供たちの学習スタイルが変わっていくためにはまだまだ時間がかかりそうです。

そして、日本では幼少期教育（就学前教育）に関しては、ほとんど注力されていないのが実情です。

国は安心して子育てできる環境作りに取り組みます！と名言しているにも関わらず、待機児童対策として保育園などの箱ばかりを建て、十分な保育者、幼少教育者の育成体制もないのが実情です。

市場を踏まえた上で、今後の社会の激変とそれに伴う自己変化力、そして自らが決め選び取る“意思決定能力”が問われる時代。現在の義務教育では適応性を育む教育がなされない中、今の子供たちに、本当に必要な幼少期の教育とは何なのか？そして、私たち大人は、今子供たちの未来のために何をしてあげられるのかという問題について、真剣に考えた時に、幼少期の教育を変えていくこと程、今後の子供たちの未来を変えていくことに直結することはないと確信しています。

未来の日本を背負っていくのは、紛れもなく、今の世代を生きる子どもたちです。幼少期に子供たちに良質な学びを提供する環境を提供するということが、何よりも子どもたちの未来を変え、そして日本への貢献、はたまた、世界を変えていくことにつながっていくと確信しています。

ただ、幼少期の教育は、結果が出るまでに非常に時間とお金がかかることは明らかです。子供たちがどのような将来を歩んでいくのか、はたまたそのために受けてきた教育が、どんな結果につながったかがわかるのは、最低でも 10 年後、長ければ 20 年以上先の話となります。

そんな中でも、私たちは、子供たちの未来のために、子供たちの存在を 100%承認し、そして子供たちが、子供たち本来の輝きで世界へ出ていける子どもたちを育てていく環境を提供したいと考えています。

教育という分野で、利益を追求するのではなく、子供たちの未来を信じている人たちと共に、様々な方の協力を得て、子供たちを社会に送り出していきたいと考えます。私たちの立ちあげる法人自体が、社会との良好な関係性を築き、その姿勢をもって、子供たちへ示していきたいと考えています。

そのため、すべてを子供たちの未来のためへの投資と考え、この NPO 法人設立を決めました。子どもたちの未来を作っていくための環境として、より多くの方から支援を受け、子供たちが世界へ出ていくためのフィールドを作りたい！そんな思いで NPO 法人を設立します。

現在マタニティ～就学前までの教育に関しては、認可外保育所を運営しているということもあり、ある程度のノウハウがあります。そのノウハウを利用し、まずは、小学部を立ち上げます。そこで、現在の学びを継続できる環境を作り、学びたいのに学ぶ環境を探しているという子供たちが、自分たちの個性を存分に発揮できる学びの場を作っていきたいと考えています。

小学部では『学びのフィールドを身近な社会から大きな社会へ！』と題して、自分・家族・身近な社会との信頼関係と安心感を基礎として、今までより広い社会を活動フィールドとし、学びを深めていきます。世の中の仕組みを理解活用し、自ら創り出していく人材を育みます。活躍フィールドはグローバルを目指します！！

2 申請に至るまでの経緯

2016年2月認可外保育所船橋インターナショナルスクールを代表個人で設立

2020年1月特定非営利活動法人取得のため説明会参加 及び、勉強会開催

2020年3月コロナウイルスにより活動休止

2020年7月活動再開

2020年9月設立総会開催

以上